



平成31年度 町長施政方針 当初予算概要 特集・保存版

奥多摩町役場 〒198-0212 奥多摩町氷川 215-6 ☎0428-83-2111 FAX0428-83-2344 <http://www.town.okutama.tokyo.jp/>



平成31年第1回定例町議会が3月5日から19日まで15日間の会期で開かれ、初日の6日に河村町長が、平成31年度施政方針を発表しましたので、その概要をお知らせします。（国・都の現況などは省略しています。全文は町ホームページに掲載、または役場企画財政課および古里出張所に置いてありますのでご覧ください。）

第5期奥多摩町長期総合計画の実現にむけて 河村文夫町長 平成31年度施政方針

【町長就任
16年目を迎えて】

平成31年は、町民皆様からの負託を受け、4期目の町政を担うこととなつてから4年が経過する任期の締めくくりの年で、通算では16年目を迎える年となります。町民の皆様、議員の皆様には、これまでのご支援とご協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

さて、私はこれまで町長として担ってまいりました16年におよぶ町政において、町民の皆様が行った16年におよぶ町政に政に何を求めているのか、また、どのような考えを

持っているのかを常日頃より意識しながら、町民の皆様が安全で、安心してこの奥多摩町で暮らすことができるよう、スピー

ド感をもってバランスのとれた行財政運営に努め、町の長年の懸案事項でありました町営水道の都営水道一元化が平成22年4月に実現し、それ以降東京水道局においては、ひむら浄水所、小河内浄水所及び大丹波浄水所など取水・導水・浄水施設整備に44億5千万円の投資をいただき、最新の浄水設備を備えた施設となりました。また、老朽化した水道管の更新等については、現在までに、およそ30億円が掛けられ、今後同様に耐震性能を

有した水道管へと生まれ変わり、町の水道については、災害に強い安全で安心な万全の水道供給体制が実現されるものと考

りましたが、将来の元利償還金への財源対策として、減債基金を事業着手当時より13億円超まで着実に積み立て、当該基金の活用と将来を見通した財政運営の安定を図ったところであります。

さらに、町単独で行っていたごみ処理事業においては、クリーンセンターの老朽化等により、焼却施設の更新には30億円以上の試算がなされ、その財源も起債等により将来に亘り財政を圧迫することが想定されることから、平成23年6月に西秋川衛生組合への加入させていただき、加入に伴う施設整備負担金は7億6千万円ほどでありましたが、22億4千万円の将来負担を軽減し、住民生活に必要なごみ処理に対する不安が解消されました。

さらに、公設の斎場整備の要望や火葬場の整備につきましましては、町単独

での整備は不可能なことから、秋川流域斎場組合に、平成25年5月より加入させていただき、斎場の利用が組合に加入したことにより、式場使用料は従来と比較して2分の1、火葬料については8万円が1万円になる等、安価な料金で使用でき、広く住民に寄与する生活基盤の課題解決を図りました。また、奥多摩町の誕生以来、「観光立町」を標榜する町として、おくとま海沢ふれあい農園の整備、森林セラピー事業の開始、はとのす荘の建て替え等や現在は、「日本一きれいな観光用公衆ト

イレ」を目指し、観光用公衆トイレの清掃を行い、観光事業の振興を実施するなど、数多くの町の課題に果敢に取り組んでまいりました。

このような中、行財政改革、財政基盤の安定にも努めさせていただき、平成16年5月に私が町長就任した時の積立基金の状況は、10億2千万円程度であったものを平成29年度末には、42億8千万円とし約4倍に増加させる一方、一般会計における地方債現在高は、平成15年度末、44億5千万円だったものを平成29年度末には22億9千万円と約

2分の1に減りました。これは、新たな借入金金の抑制を行い、その分の財源補完を東京都市町村総合交付金に求め、将来に渡る財政不安の解消に取り組んだ結果であります。

平成27年からスタートいたしました「第5期奥多摩町長期総合計画」においては、「人 森林（もり） 清流 おくたま魅力発信！」く住みたい住み続けたい みんなが支える癒しのまち 奥多摩くをキャッチフレーズに、豊かな森林（もり）と清流の中で自然と共生する町において、多くの魅力に包まれた、住む人と訪れる人が癒され、子どもからお年寄りまで、生涯を健康で安心して暮らせるまちづくりを推進しておりますが、その中でも過疎化が進行する町の最大課題である人口減少への取り組みとして、少子

化対策と定住化対策を「奥多摩創造プロジェクト」

に位置付け、重点的に、また、積極的に推進してまいりました。

この「奥多摩創造プロジェクト」では、活力ある地域づくりのため、少子化対策の推進として、出会い・暮らし、子育て・教育の分野を、また、住みたい方が住める町を築くため、定住化対策の推進として、仕事、住まいの分野を推進することとしております。

これらの対策は、過疎化による人口減少、少子高齢化が進む当町において、高齢化対策や地域コミュニティの活性化にもつながるものであり、高齢化率は49%と非常に高い状況が続く中、地域コミュニティが低下しつつある地域も見られる町において、重点的に推進すべき取組であると考えて推進してまいりました。

このようなことから、平成20年3月には地域全体で子ども子育てを支





援し、保護者の経済的負担の軽減を図ることで、住民皆様が安心して子育てができる環境を整備することを目的に、「奥多摩町子ども・子育て支援推進条例」を制定し、現在まで様々な制度や事業の見直しを行い、出会いの場支援としまして、ふれ愛サポートセンターによる交流の場やふれあいの場の提供を行い、子育て支援としましては、保育料の全額助成、小・中学校給食費の全額助成、高校生までの医療費の全額

助成、産後健康診査等費用の助成、さらには、保育園から小・中・高等学校までの入園・入学・進学等支援、高校生等通学定期代助成など、これらの15項目に及び子ども・子育て支援推進事業の進捗、平成18年度には定住促進を目的とした、安価に分譲する事業を開始し、平成21年度には、若者世代の増加を図ることにより、豊かで活力のある地域を目指して、「若者定住応援条例」を制定し、若者定住応援補助金の推進等の支援を行うほか、平成21年度及び22年度の2か年で、町営若者住宅の第1弾として、海沢地区に9世帯分を建設し、現在では22年間定住すると無償譲与する子育て応援住宅や分譲地の整備、数年来重点的に整備を進めている町営若者住宅、空家等活用促進事業交付金等により町へご寄

付をいただいた物件を活用した若者定住応援住宅、いなか暮らし支援住宅等の整備を一体的に推進してまいりました。

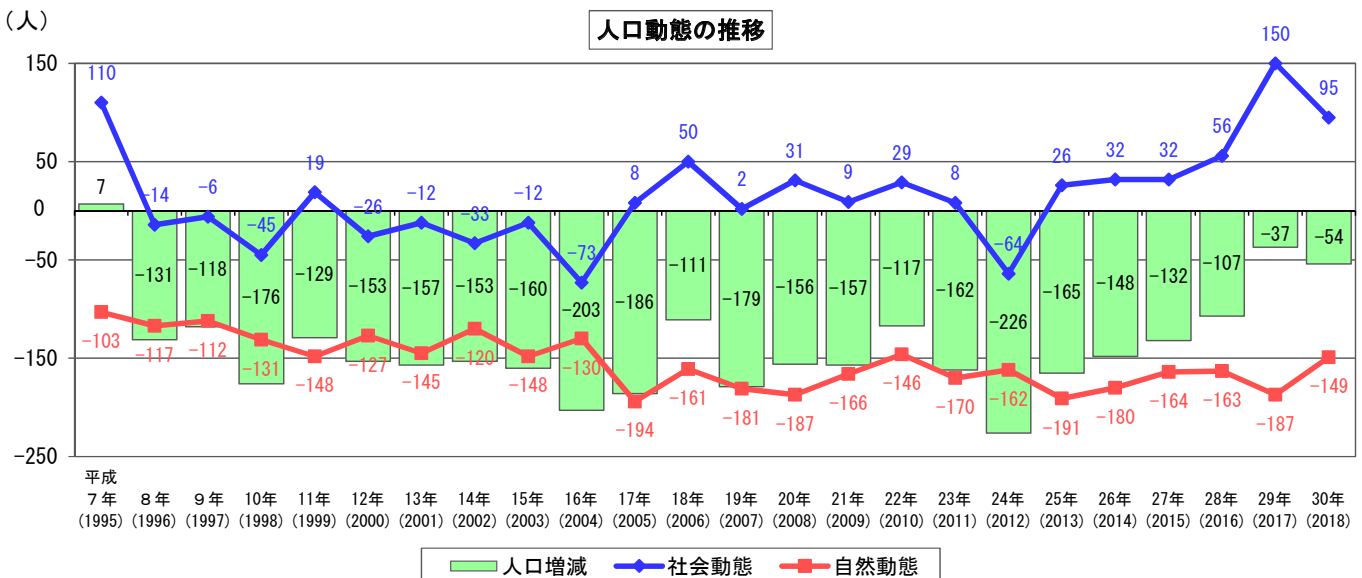
これらの結果、当町の人口は平成8年以来、年間平均150名ほどが減少を続けておりましたが、平成29年においては、マイナス37名であり、昨年、平成30年度では、マイナス54名とかつての減少数の半分以下で、以前に比べ、大きな改善傾向となっております。町営若者住宅や若者定住応援住宅、いなか暮らし支援住宅、分譲地の整備等、各種の定住対策を重点的に進捗してまいりました事業の成果の一端がここに表れていると考えております。

平成31年度においても、これまでの歩みを止めることなく、小丹波地内で8世帯分の町営若者住宅の建設を進めるとともに、平成30年度に実施しまし

た、22年間定住することで、住宅を無償譲与する子育て応援住宅につきましては、31年度も整備を実施いたします。

このような結婚前の出会いの場から定住対策と子育て支援を一体的に推進すること、この奥多摩町に住みたい、住み続けたいという思いを持っていただき、一人でも多くの皆さまがこの町で暮らせるよう、職員一人一人が、明確な目的意識をもって、「奥多摩創造プロジェクト」を一層推進してまいります。

人口動態の推移



【平成 31 年度の主要事業について】

まちづくりの最上位計画である「第 5 期奥多摩町長期総合計画」の施策の大綱に沿って、平成 31 年度予算で特に重点としている施策や新規事業について説明します。

第 5 期長期総合計画 第 1 章「みんなで支えるホットなまちづくり」

○誰もが元気で健康に暮らせる地域づくり

町民皆さんが健康に生活できるように、各種の検診事業、保健推進活動事業、定期予防接種事業、食育推進事業、健康相談事業などの疾病予防につながる事業を実施するほか、地域医療体制及び医療保険制度の適切な事業運営が図られるよう、着実に進めてまいります。

○安心して子どもを産み育てる地域づくり

過疎化による少子高齢化が進む当町においては、次世代を担う子どもを安心して育てる環境づくりのため、出会いから結婚、出産、子育て・子育てまできめ細やかな支援を行ってまいります。

特に、重点施策の一つとしている少子化・定住化対策は、15 項目に及ぶ子ども・子育て支援推進事業の制度を今後も推進するほか、住宅の新築や改築に対して支援する若者定住応援の助成を推進するなどし、町内在住の家庭はもちろんのこと、移住者への支援も合わせて行うことにより、子どもや子育て世代の増加を図り、自治会等の地域コミュニティの維持、活力の向上に努めてまいります。

また、31 年度は、児童数の増加や公定価格の改定等により保育所措置費等を増額し計上させていただきました。

○高齢者が生きがいを持って暮らせる地域づくり

多くの高齢者は住み慣れた地域で安心して暮らしてい

くことを望んでいますことから、保健師等の町職員、地域包括支援センター職員、高齢者見守り相談員、社会福祉協議会、民生・児童委員等が連携を行いながら、在宅高齢者への福祉サービスを引き続き推進してまいります。

また、介護老人福祉施設などの施設介護サービスにつきましては、町民が将来に亘り経済的負担を少なく施設へ入所できることに配慮し、新たに施設整備に対する補助事業費を計上させていただきました。

○障害者が自立して生活できる地域づくり

障害者が安心して地域の中で自立した生活を送ることができるよう、医療・福祉などとの連携や継続的な支援相談体制が重要となります。

特に、障害者地域活動支援センターの充実が必要なため、JR 鳩ノ巣駅前に新たに建設を行い、障害のある人が必要なサービスを受けられるよう、また、社会参加が図られるよう、引き続き推進してまいります。

○心のぬくもりと絆を持ち続けられる地域づくり

当町では、自治会や隣組などの地域での支え合いや助け合いによる地域コミュニティの力は非常に強いものの、少子高齢化等の影響により、これまで通りの地域での支え合いが困難となることも想定されます。

引き続き地域の中で支えあいながら安心して暮らすことができるよう、地域の活性化を推進してまいります。

第 2 章「やさしさ ふれあい 人と自然」

○自然とともに歩むまちづくり

当町は、豊かな水と緑に恵まれ、町内全域が秩父多摩甲斐国立公園に含まれていることから、そのような環境を大切に保全していくために、環境に配慮した循環型社会の形成に努めるとともに、生活基盤として重要な役割を持つ道路の整備や公共下水道のさらなる接続の促進、簡易給水施設の安定的な維持管理を行います。

また、ごみ処理につきましては、ステーション方式の収集を行い効率的なごみ処理に、住民皆様にご協力いただいておりますが、高齢者世帯などの排出困難者に対しましては、新たに戸別に玄関先まで収集することとし、きめ細かく対応することといたします。

<つぎのページ左上に続く>



第2章「やさしさ ふれあい 人と自然」 <つづき>

<前のページ右下からの続き>

○誰もが住みたくなる心かようまちづくり

これまで住民と行政との協働によるまちづくりを推進するために、住民が主体となったまちづくり活動への支援を行ってまいりましたが、引き続き住民がまちづく

りへの参加ができるよう、取り組みを行ってまいります。次に、新たに土砂災害特別警戒区域への住宅対策として改修工事補助金を創設するほか、土砂災害ハザードマップの作成、防災行政無線デジタル更新事業等を行い、自然災害への対策を推進してまいります。

第3章「町の中と外から関心を持たれる教育のまちづくり」

○みんなでチャレンジする生涯学習のまちづくり

文化会館は、生涯学習の拠点として活用されておりますが、施設や設備の老朽化が進んでいることから、空調設備の改修工事を予定します。

また、他地域や海外の人材と積極的に交流できる機会を提供するため、友好交流を締結した神津島村での洋上セミナーのほか、海外との交流として、オーストラリアへの海外派遣事業及びホームステイでの受け入れ事業などを引き続き実施いたします。

○豊かな能力と強い心を育むまちづくり

各学校における施設や設備については、氷川小学校の水道直結化工事、古里小学校の体育館非構造部材耐震化事業、奥多摩中学校では西側トイレの改修事業、水道直結化実施設計委託を実施し、児童・生徒が安心して教育を受けることができるよう教育環境を整備いたします。

また、全ての学校に教員の負担軽減と効率化を図るため、校務支援システムを導入し、各種帳票・管理作業の電子化並びに学校間グループウェアが利用できる環境を整備します。

○誰もがスポーツ活動に参加するまちづくり

昨年、第1回を開催しましたスポーツフェスティバルにつきましては、町民のスポーツへの参加を促進し、健康増進につながるため、さらなる検討をすることのほか、東京2020大会パラリンピック正式種目であるボッチャなどのニュースポーツにつきましてもさらに推進していきます。

また、スポーツ関連施設の活用として、川井スポーツ・コミュニティ施設の改修工事を予定しております。

○伝統と先進の文化・芸術にあふれたまちづくり

町内の郷土芸能を次代に確実に継承するために、一巡した郷土芸能の映像保存について、新たな映像記録保存事業を実施してまいります。また、児童・生徒による継承事業として、笛の演奏体験授業や氷川獅子の実施など郷土芸能の将来の担い手の育成を図ります。また、獅子頭や衣装整備等を計画的に実施し、民俗芸能の用具が適切に維持管理できるように支援を行います。

第4章「みんなの力がつながる観光・産業づくり」

○住民が元気になる交流観光づくり

町内全域が、秩父多摩甲斐国立公園に含まれている当町には、その豊かな自然を求めて年間、212万人を超える観光客が訪れていると推計されております。近年、公共交通機関を利用する観光客が多く見受けられ、ハイシーズンには、奥多摩駅前、バスの乗車待ちが長蛇の列になることや外国人観光客が顕著に増加していることなどが感じられます。

今後も観光によるまちづくりを推進するべく、日本一観光用公衆トイレがきれいなまちを目指し、奥多摩駅前観光トイレ改築事業や観光トイレの改修、クリーンキーパーによる観光用公衆トイレの清掃を引き続き実施し、イメージアップと観光客数の増加に努めてまいります。

○奥多摩ならではの地域産業の推進

森林再生事業による森林環境の整備や木質バイオマス

推進事業による木質資源の活用を引き続き実施いたしますが、31年度は重要施策としまして、内水面漁業環境活用施設整備事業を活用して、大丹波国際釣場管理棟の建設整備を実施し、各釣場の特色を活かし、外国人観光客や障害者、小さな子供連れでも楽しむことのできる釣場の整備を進めてまいります。

○観光・産業づくりを推進する力の強化

奥多摩観光協会やおくたま地域振興財団等の関係団体と連携しての各種イベントや事業の実施に加え、他団体の実施するイベントへの出展により、魅力あふれる奥多摩町の観光や特産物等の情報を提供するほか、多言語対応の観光パンフレットを新規で作成することで、外国人旅行者を含めた観光客の誘致につなげてまいります。

<施政方針は8ページに続く>

平成 31 年度当初予算が 3 月の定例町議会で可決されました

平成 31 年度は、第 5 期長期総合計画「おくたま魅力発信計画」の 5 年目を迎えます。

町の財政は、町税が漸減するなど厳しい状況にあります。住民福祉の増進と少子化・若者定住化対策をさらに推進し、個性的で活力のある地域社会を将来に亘って持続させるため、費用対効果を含めた事業全般の事後検証の強化と制度や事務事業の必要性や有益性を吟味し、必要な見直し・再構築を図るなど、身の丈にあった健全で堅実な行財政運営を推進することを基本として予算編成を行いました。

なお、奥多摩町の予算は、一般会計と 6 つの特別会計並びに企業会計（病院収益的・資本的）の全 8 会計からなっています。

平成 31 年度会計別予算額と前年度との比較

(単位：千円・%)

区 分		平成31年度	平成30年度	増減額	増減率	
一 般 会 計		6,680,000	6,290,000	390,000	6.2	
特別会計	都民の森管理運営事業	75,500	75,500	0	0.0	
	山のふるさと村管理運営事業	162,000	162,000	0	0.0	
	国民健康保険	794,000	787,000	7,000	0.9	
	後期高齢者医療	207,000	202,000	5,000	2.5	
	介護保険	898,800	832,000	66,800	8.0	
	下水道事業	600,400	579,000	21,400	3.7	
	小 計	2,737,700	2,637,500	100,200	3.8	
病院事業会計	収益的予算	508,000	493,600	14,400	2.9	
	資本的予算	歳入	7,000	14,595	△ 7,595	△ 52.0
		歳出	12,215	22,885	△ 10,670	△ 46.6
	小 計(歳出)	520,215	516,485	3,730	0.7	
合 計		9,937,915	9,443,985	493,930	5.2	

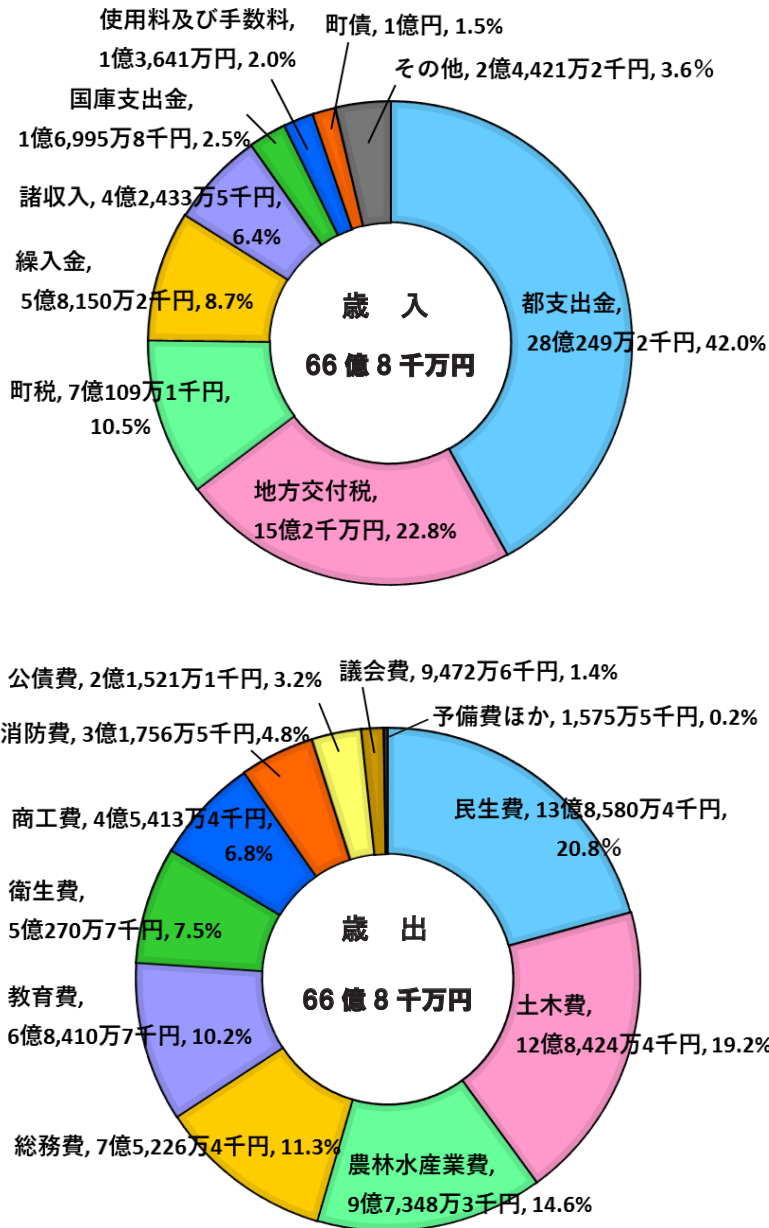
【予算の概要】

平成 31 年度の一般会計の予算規模は、前年度比で 3 億 9 千万円、率にして 6.2% 増となる 66 億 8 千万円で過去最大となりました。

特別会計では、介護保険特別会計で施設介護サービス等の保険給付費の増により 6 千 7 百万円、8.0% の増、下水道事業特別会計で元利償還金等の増により 2 千 1 百万円、3.7% の増となりました。これらの要因により、全会計総額では前年度比 5.2% 増の 99 億 3,791 万 5 千円となりました。

なお、奥多摩町ホームページには、さらに詳しい内容の「当初予算の概要」を掲載していますので、ご覧ください。

一般会計歳入歳出予算額および構成比



【主な事業】 ○小丹波地内若者住宅建設事業 2億2,560万円 ○少子化対策事業（保育園保育料助成、高校生等通学定期代助成、入園・入学・進学等支援、学校給食費助成など）4,488万5千円 ○若者定住推進事業（若者定住応援補助金、空家等活用促進事業交付金、寄付物件補修・解体工事など）4,653万8千円 ○障害者地域活動支援センター建設事業 1億5,139万6千円 ○介護老人福祉施設整備事業（補助金）9,250万円 ○土砂災害特別警戒区域対策事業（住宅・建築物土砂災害対策改修補助金、土砂災害ハザードマップ作成業務委託など）1,947万7千円 ○防災行政無線（戸別受信機）更新事業 6,822万6千円 ○内水面漁業環境活用施設整備事業（大丹波国際釣場管理棟建設事業など）2億1,588万8千円 ○観光施設整備事業（奥多摩駅前観光トイレ改築工事、観光トイレ改修工事、観光看板改修工事など）1億2,580万1千円 ○道路新設改良事業（坂下中井戸線、南平熊沢線、一付線、高畑線など）2億666万5千円 ○小・中学校建設事業（氷川小学校水道直結化工事、中学校西側トイレ等改修工事など）7,318万3千円 など

第5章「住民と行政がともに考え、ともに築く、 住みよい・住みたいまちづくり」

○官民協働による定住対策とまちづくり

過疎化による少子高齢化や地域コミュニティの活性化へつなげるため、住宅用地として分譲地の整備、町営若者住宅等の建設を実施し、町内への定住、移住が図られるよう定住対策事業を進めてまいります。平成31年度は、小丹波地内若者住宅建設工事のほか、平成30年度からの新規事業として実施しました、新築住宅を22年間の入居後に譲与できる子育て応援住宅をさらに建設し、若者をはじめとした奥多摩町に住みたいという多くの方々の受け皿を整備してまいります。また、公営日向住宅の改修設計委託も実施してまいります。

これらの事業の実施にあたっては、地権者や空家所有者の方々をはじめ、地域の皆様のご理解、ご協力が不可欠であります。今後も、皆様方のご理解、ご協力を得ながら定住施策を推進してまいります。

○成果を重視した行政改革の推進

第4次行政改革大綱に基づく「量から質への転換を目指した「しごと・ひと・しくみ」の改革」を推進し、町民皆様に満足いただける行財政運営が図られるよう努めてまいります。

また、多様な行政需要への対応と各課の業務を最適化するため、若者定住化対策室を若者定住推進課に、住民課生活環境係と地域整備課下水道係を統合し、地域整備課を環境整備課とし、環境係を設置するなど、役場組織の見直しを行うところでございます。役場本庁舎の機能強化に向け、新庁舎建設に関する事項を企画財政課が所管することで、新庁舎建設について明確にし、本格的な検討を始めます。

○身の丈にあった健全な財政運営の推進

自主財源である町税が年々減少を続け、国や都へ財源を依存している厳しい財政状況の中、各種事業の見直し・再構築を図りながら、事業の実施にあたっては、限りある財源を効果的、効率的に執行を行い、身の丈にあった健全で堅実な財政運営を推進するとともに、将来の財政需要を見越し、庁舎建設基金をはじめとした基金への積み立てを計画的に行ってまいります。

また、町税の収納率は、都内市町村でもトップクラスの高さであります。貴重な自主財源ですので、今後も収納事務の対策を緩めることなく自主財源の確保を図ります。

【おわりに】

冒頭でも申し上げましたとおり、多くの町民皆様からの負託を受け、4期16年目の年を迎えることとなりました。

これまで、町民皆様のニーズを敏感に感じ取り、スピード感を持って、奥多摩町の最大の魅力である豊かな自然環境の保全と活用を心がけ、道路や下水道等のインフラ整備、都営水道への一元化、ごみ処理や斎場利用に関する一部事務組合への加入、さらには町の特色を活かした観光や産業の振興、若者定住及び子ども子育てに関する特色ある定住推進施策など、様々な取り組みを行ってまいりました。

今後も、定住化対策と少子化対策は最重要課題ではあります。31年度の予算計上の内容のように、町営若者住宅の建設による定住対策、障害者の地域活動支援センター建設による障害者対策、ごみ排出困難者対策や介護老人福祉施設への補助金などの高齢者対策、土砂災害特別警戒区域に対する対策事業、小・中学校への施設整備など、あらゆる世代や方面に対し施策の推進を図っております。

また、近年増加傾向が感じられる外国人旅行者を含めた観光客への対応として、奥多摩観光の玄関口である奥多摩駅前観光トイレの改築事業や大丹波国際釣場管理棟の建設事業など東京2020大会を来年に控え、さらなる観光客増加への対策を実施し、現在改修しています奥多摩駅の利便性の向上と合わせ、観光立町を標榜する町として、これからも観光の振興を図ってまいります。

「第5期長期総合計画」のキャッチフレーズに掲げた、「人森林（もり）清流 おくたま魅力発信！」が町民皆様にも、奥多摩を訪れる観光客をはじめとする町外の方にも、奥多摩の魅力を感じていただけるよう働きかけてまいります。

これからも、明日の奥多摩を創る「奥多摩創造プロジェクト」を重点的、積極的に推進するとともに、「第5期長期総合計画」に定めた施策を着実に実行することで、誰もが住みたい、住み続けたい町の実現に向けて、私の力の限り全力で邁進していく所存であります。